

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
	地域コミュニティ・集落再生		環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		こいで むねあき		
氏名		小出 宗昭		
所属	名称	-		
	役職	中小企業支援家		
連絡	住所 (職場)	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町 5-26-306 小出宗昭事務所		
	連絡先	e-mail	toiawase[アットマーク]office-koide.jp	
		TEL 054-291-5580	FAX -	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴		<p>1959 年生まれ。 法政大学経営学部卒業後、静岡銀行に入行。 M&A 担当などを経て、2001 年静岡市の創業支援施設「SOHO しずおか」へ出向、インキュベーションマネージャーに就任。起業家の創出と地域産業活性化に向けた支援活動が高く評価され、Japan Venture Award 2005 経済産業大臣表彰を支援者として受賞した。</p> <p>2007 年浜松市に開設された中小企業支援施設「はままつ産業創造センター」への出向中に、故郷の富士市から「富士市産業支援センターf-Biz(エフビズ)」のセンター長着任を依頼され、2008 年静岡銀行を退職し会社を立ち上げ、新設された同施設の運営を受託し 12 年に渡り運営した。</p> <p>知恵を使って売上を生む小出流の中小企業支援をわが町にもと取り組む自治体が全国 20 カ所以上に拡がり、NHK「BS1 スペシャル」や「クローズアップ現代」などでその活動が特集された。経済産業省中小企業政策審議会臨時委員(2011～2020 年) 全国知事会地方自治先進政策センター頭脳センター専門委員(2010 年～) 内閣府地域活性化伝道師(2007 年～)</p>		
著作・論文等		<p>・掘り起こせ！ 中小企業の「稼ぐ力」 地域再生は「儲かる会社」作りから 2019 年 8 月光文社新書</p> <p>・御社の「売り」を見つけなさい！ 2018 年 8 月・(株)ダイヤモンド社</p> <p>・取引先を“稼ぐ企業”に変える方法教えます！ 知恵で利益を生み出す取引先支援の極意 2017 年 10 月・(株)近代セールス社</p> <p>・地元の小さな会社から「稼ぐ力」を掘り起こす ワンストップ・コンサルティングの実践 2016 年 2 月・(株)同友館</p>		



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>・小出流ビジネスコンサルティング 日本を元気にする切り札がここにある！ 2012 年 5 月・(株)近代</p>
取組概要	<p>2001 年 2 月に当時の勤務先だった静岡銀行から出向する形で公的産業支援の世界に飛び込み、静岡県内で規模、産業構造等が全く異なる静岡市、浜松市、富士市で計 4 か所の公的創業・産業支援施設の立ち上げ、運営を担い、施設を核とした「地域活性化」に取り組んできました。地域が変わってもパフォーマンスが落ちる事がなかったのは、施設の場所や種類に左右される事なく公的産業支援プロジェクトを成功させるノウハウが確立できた結果だと自負しています。</p> <p>活動の中核にあるのは、地域の中小企業やこれから起業しようとしている人達が抱える経営課題を一緒になって解決する、ビジネスコンサルティング業務です。必要とされる技術をもっているのに、そのことが顧客にうまく伝わっていなかったことで業績が伸び悩んでいた企業に対し、「強みの見える化」につながる新サービスを企画提案したところたちまち売上が V 字回復させた事例や、機械が古いせいで小ロット生産しかできず廃業を覚悟していた企業に対し、弱みと捉えていた「小ロット生産」を「強み」として打ち出す新戦略を企画提案し売上倍増を実現させた事例など、1,500 件を超える新規事業立ち上げを支援してきました。</p> <p>富士市産業支援センターf-Biz(エフビズ)は、開設から 1 年目の平均月間相談件数は 130 件超、それが 10 年目には 350 組を超えて、1,000 以上の新商品や新サービスが生まれるという、全国的にみても最も活性化した産業支援施設でした。テレビや新聞等のメディアで「日本で最も活性化した産業支援施設」などとして注目され、中央官庁や他の支援機関、自治体からの視察も絶えることがありませんでした。2014 年には政府がこのエフビズをモデルにした産業支援拠点を全国 47 都道府県に開設しました。</p> <p>また、全国各地の自治体からわが町にもエフビズをつくりたいと相談を受けるようになりました。中小企業を支援する時、問題点の指摘や分析だけではすぐに売上はあがりません。具体的に売上があがる「知恵」や「アイデア」を提供できる「人」が鍵であり、これがいま中小企業支援に求められています。人に重きをおいた取り組みが重要であることを発信しはじめると、当初は小出だからできると言われましたが、ビジネスの最前線で活躍している人の中にはポテンシャルがある人がいると私は考えていました。</p> <p>取り組みたいとする自治体には、そうした人材を広く公募して募り、書類審査と、地域の経営者の相談にその場で対応する実践さながらの厳しい面接審査を経て選抜し、OJT を受けセンター長に着任させ、開設後は徹底した成果主義による運営をすべきとアドバイスしました。これを実行している施設はビズモデルと呼び、2025 年 8 月現在釧路市、木更津市、氷見市、大垣市、大東市、東広島市、萩市にあります。私がいまセンター長をさせてもらっている国立市のくにビズも含めたビズモデルのメンバー達は、「全国ビズネットワーク」という自主組織を持ち、中小企業に対し</p>

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	より効果的な支援を提供することを目指すべく、勉強会等を通じて支援力の向上にも取り組んでいます。 日本の全企業数のうち 99.7%は中小企業です。中小企業を元気にすることで、地方を元気にできると考えています。
メッセージ	どんな人、企業、地域にも生かされるべきものが必ずあります。少人数で低予算のプロジェクトでも、アイデアと行動力で地域活性化は実現可能です。
関連ホームページ	https://office-koide.jp
活動エリア	全国

- ※ 公開できる情報のみ掲載しています。
- ※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
- ※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。